

令和6年度

半田中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る指導の工夫
- ②表現力を高める学習活動の充実

学力向上検討委員会構成

| | |
|---------|---|
| 学力向上推進員 | 委員 |
| 尾形みゆき | 校長:手塚博也 教頭:多田千洋 教務:源 健人 研修主任:永尾修一 1年主任:庄野 薫 2年主任:永尾修一 3年主任:山下正典 国語主任:庄野 薫 数学主任:瀧川朱生 |

校長

手塚博也

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|-----------------------------|--|---------|----------|-------------|
| ○与えられた課題には、真面目に取り組むことができる生徒が多い。 ●基礎基本の定着が不十分な生徒や家庭学習の習慣が身につけていない生徒がいる。 | ・基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 | ・単元の終了後に小テストを行い、スモールステップで復習させ、知識・技能を確実に習得させる。 ・ICTなどを効果的に活用し、すべての生徒が学びやすい授業を実施する。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|---|--|---------|----------|-------------|
| ○自分の考えを发表或し、友達の意見を聞いたりすることができる。 ●自分の考えなどを、根拠を明らかにしながら筋道を立てて表現することは十分ではない。 | ・根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えをわかりやすく他者に伝えることができる。 ・話し合い活動を通して、気づいたり、考えたりしたことを表現することができる。 | ・ICT機器やホワイトボードなどを活用し、話す聞くなどの言語活動を行い、表現力を身につけられるようにする。 ・学習形態を工夫しながら話し合いや学び合いの場を設け、発表する機会を増やし自信を持たせる。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|---|---------|----------|-------------|
| ○授業中、落ち着いて学習に取り組む、内容を理解しようと努力している。 ●苦手な学習内容に対して、粘り強く学習に取り組むことができない生徒がいる。 | ・目標をもち、それを達成するために、主体的に課題や自主学習に取り組むことができる。 | ・生徒の学習活動に対して全教職員がポジティブな行動支援を行い、学習意欲を高めていく。 ・各教科や学級活動など機会を捉えて「学習の手引き」を示し、主体的な学習方法を身につけられるようにする。 ・それぞれの教科で授業の目標の明示と振り返りを行う。 | | | |

令和6年度 学力向上ロードマップ

